

平成22年9月1日招集

茂原市議会定例会会議録（第4号）

議事日程（第4号）

平成22年9月10日（金）午前10時00分開議

- 第1 認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第2号までの質疑後委員会付託
- 第2 休会の件

茂原市議会定例会会議録（第4号）

平成22年9月10日（金）午前10時00分 開議

- 議長（常泉健一君） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。
現在の出席議員は26名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

- 議長（常泉健一君） 本日の議事日程はお手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第2号までの 質疑後委員会付託

- 議長（常泉健一君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。
議事日程第1「認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第2号までの質疑後委員会付託」を議題とします。
これより質疑に入ります。
最初に、認定案第1号「平成21年度茂原市一般会計歳入歳出決算認定について」の質疑に入るわけですが、本案に対する質疑は、その内容から相当時間を要するものと思われまので、細部については議会運営委員会の協議に基づき決算審査特別委員会を設置し、その席で十分御質疑を願うこととし、本議場においては、市長の政治姿勢等にかかわる基本的な大綱のみについて質疑を願うこととしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（常泉健一君） 御異議ないものと認めます。したがって、そのように決定しました。

それでは、最初に認定案第1号「平成21年度茂原市一般会計歳入歳出決算認定について」の大綱的な質疑を許します。

平ゆき子議員。

- 9番（平ゆき子君） それでは、民生費、衛生費、土木費、教育費の4点ほどお伺いをいたします。

先に民生費、こちらのほうは201ページ、この緊急雇用創出事業、単身高齢者世帯の見守り

事業についてお伺いいたします。この高齢者の見守りについては、ただいま世間でも痛ましい高齢者の方の所在不明、こういう問題が起こり、大変話題になりました。こうした問題に、この単身高齢世帯見守り事業というのは大変有効な事業ではあるんじゃないか。今国会で数人の議員がこの問題に対して質問が行われ、またその答弁においても、さらに重要性が再認識されたわけなんですけれども、実は私、この事業に対しては非常に思い入れがございまして、平成20年3月議会では、この問題、地域包括支援センターにおきまして、そのころちょうどひとり暮らしの高齢者の方が亡くなる孤独死が大変問題になった時期で、ぜひ地域でこういうひとり暮らしのお年寄りの方、安心して生活できるようにと、そういう意味でも、地域包括支援センターが中心になって、こうした問題を取り組んでほしいと。そのためには、ひとり暮らしの高齢者の実態調査を行ってほしいというようなことを申し上げましたところ、それは非常に重要と思うが、財政面のところもある、そういう意味でもできるだけ早く取り組みたいというような答弁をいただきまして、それが実現した、そういう現状になっておりますので、私としてもこの行く末、非常に期待をしております。ただ、これは残念ながら2年の時限事業ですので、これを今後ぜひ生かしていただきたい。また、継続していく必要があるんじゃないかと、このように思いますので、当局のお考えをお伺いしたいと思います。

次に、衛生費では233ページ、リサイクル推進事業。主要施策の成果のほうの129ページにも書かれているんですけれども、この間のリサイクルの推進、ごみ減量化の成果が表のほうに出ているんですが、これを見ますと、平成17年度から21年度までの成果が表になって出ているんです。これを見ますと、回収量、これが年々増えているんじゃなくて減っているんですね、年を追うごとに。また、それにかかわっているリサイクル団体数、これもまた減少しているんです。こうした今非常に環境問題、資源の循環社会、こういうことをつくっていかなくちゃいけないということで、各地でリサイクルということが盛んに取り組まれているんですが、この茂原市は他市に先駆けて、千葉県下でも本当に早くリサイクル事業が行われているという中で、こういった数字、ちょっと後退しているのではないか、このように見れるんですね。あと還元金も、ここに書かれているんですけれども、これも年々減っておりまして、21年度で見ますと、還元金から報奨金のほうに名称が変わって、額もまた1312万余あたりから21年度にかけては報奨金にかかわって435万余に、3分の1ほどに減っています。こういったことも影響しているのかなと見た感じでは思ったりはするんですが、ここら辺の減少ぐあい、実際どうなのか、その点をお伺いしたいと思います。

次に、土木に関してです。決算書の283ページ、市営住宅管理費についてお伺いをいたしま

す。主要施策の成果では128ページにも書かれているんですが、この間、市営住宅の空き家募集、時あるごとに取り上げてはきているんですが、今生活が大変困窮して、一般のアパートや貸家でなくぜひ市営住宅を利用したい、また県営住宅でもいいと。とにかく低廉な家賃の市営住宅に何とか入れないかというような要望が非常に多うございます。そういう中で見ますと、今回の平成21年度では6戸しか募集されていないと、このように書かれています。これではあまりにも低すぎるんじゃないかと、このように思うんですけども、ぜひこの点、どういう事情でこうなっているのか。財政事情というのが一番先にくるとはわかっておりますが、その点、当局のこういう状況を、なぜこうなっているのかをお伺いしたいと思います。

それから教育に関しまして、決算のほうの小中学校にわたりまして295ページ、それと303ページ。その中で小中学校の特別支援教育支援員活用事業がございます。これはA D H D や L D、要するに多動性の方、もしくは学習障害者のそういった特別支援教室のほうの生徒の安全確保、そして学習支援のためにもこういう支援員の方の要望というのが非常にこの間多く、また、学校訪問したときも校長先生などがぜひ増やしてほしいというようなことが言われて、この間、特別支援員の方は増えてはおります。成果のほうを見ますと、26ページに出ているんですが、小中学校でそれぞれ3校ほど配置されていると出ておりますが、ほかにもまだ必要な学校はあると思うんですが、今後さらに増員するというような計画はあるかどうかをお伺いしたいと思います。以上です。

○議長（常泉健一君） 当局の答弁を求めます。

福祉部次長 大野博志君。

○福祉部次長（大野博志君） それでは、民生費の中の単身高齢世帯見守り事業を今後も継続していく必要があると思うが、市の見解はとの御質問でございます。本事業は、65歳以上の単身高齢者を対象として、生活状況や健康状態などの実態把握を行い、見守りが必要な方につきましては別途訪問するなどの対応を行っております。また、緊急時の連絡先等の把握をし、単身高齢者台帳を整備することで日常の相談対応や事故等の緊急時に役立てていこうとするものであります。高齢化の進展とともにひとり暮らしの高齢者の方も増加していくことが見込まれております。そのような中、本事業は単身高齢者の方々の抱えるさまざまな問題の解決を図る有効な手段であると同時に、生きがい対策、災害対策、孤独死対策など、さまざまな施策につなげていくことができる事業であると考えております。このように、本市の主要な高齢者施策の一つとして認識しておりますので、今後も継続し、さらにきめ細かな事業実施ができるように努めてまいります。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 経済環境部次長 鳩川文夫君。

○経済環境部次長（鳩川文夫君） それでは、リサイクル推進事業について、資源ごみの回収量が年々減少している、また、その原因が還元金から報奨金に変わったことと関係はないかとの御質問ですけれども、資源ごみの回収量につきましては、平成18年度をピークに年々減少しております。この回収量につきましては、重量で計測しておるところですけれども、清涼飲料水等の容器がビン、スチール缶、アルミ缶からペットボトルに移行していること、また、新聞紙の回収量が減っていることも一因であり、特に新聞紙につきましては、購読者の減少、それと新聞販売店が定期的に回収していることなどがあります。また、集積所からの持ち去りがあることも要因ではないかと思っており、報奨金が下がったことが直接の原因とは考えておりません。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 都市建設部次長 酒井達夫君。

○都市建設部次長（酒井達夫君） それでは、市営住宅に関する御質問にお答えします。平成21年度市営住宅の一般募集が6戸であるが、平成20年度に比べ少ないのではないかとの御質問でございますが、市営住宅の新規募集は確かに昨年より減少いたしました。この対策といたしまして、高層階から住みやすい1階を希望する高齢者が多くありました。この対策といたしまして、住み替え、リフォームを4戸実施いたしました。結果、新規募集については6戸となりました。どうぞ御理解のほどお願いいたします。

○議長（常泉健一君） 教育部次長 斉藤 勝君。

○教育部次長（斉藤 勝君） それでは、小中学校の特別支援教育支援員活用事業の関係で増員する計画はあるのかということですが、特別支援教育支援員についてですが、今まで3小学校及び3中学校の各1名の計6名を配置しておりましたが、今月から緊急雇用創出事業を活用して、新たに3名の支援員を萩原、豊岡小学校、早野中学校に配置したところです。よって、現時点の配置数は5小学校と4中学校の合計9校となっております。各学校では教職員が協力しながら落ち着いた学習環境に努めております。しかしながら、発達障害等の児童生徒のフォローが必要となっており、その対応が求められているため、各校の状況に応じて優先順位を決め配置しているところです。特別支援教育支援員は、その特殊性から人材の確保が難しく、今回の緊急雇用創出事業においてもハローワークで5名募集したところですが、面接等により採用決定できたのは3名にとどまっており、人材の確保に苦慮しているところです。今後も引き続き残り2名を募集し、未配置校に配置してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（常泉健一君） 平議員、再質問ありますか。

平ゆき子議員。

○9番（平ゆき子君） では、御答弁を受けまして何点か再質問させていただきます。

民生費のほうでは今後も継続していただけるということですので、ぜひよろしく願いいたします。きめ細かい事業、それを取り組んでいくというようなお話でしたので、ぜひひとり暮らしの方だけでなく、茂原市は老老世帯という、お2人暮らしの御夫婦の方も非常に多うございますので、ぜひこうした方も対象として実施されるようお願いしたいと思います。これは要望です。

次の衛生費のほうですが、この数字だけは、重さ等あり、リサイクルが後退しているわけじゃないというようなお話なんだろうと思いますが、お話伺っていますと、ちょっと気になったことは、新聞紙を持ち去っていると、こういったことは今ほかの自治体でも、マスコミが取り上げていて、その自治体でも対処に苦慮しているというようなのが最近テレビなどでも見て、こういうことがあるのかと思っていましたが、この答弁を聞きますと茂原市でも、この近隣でもあるということなんだろうと思いますが、茂原市というんでしょうか、広域でやっていますので、その対応はどのようにやられているのか伺いたいのと、もう一つは、報奨金、還元金が年々少なくなっています。しかし、それが大きな原因じゃないというようなお話ですけれども、市民の方から、今まで頑張ってやってきて、それなりに入ってきたときもあった。財政難もいろいろあるだろうけれども、それが頑張りの一つの大きな要因だったと、このようなお話も聞いております。ある程度額というんですか、それは保証していただきたいなど、このように思います。この2点、こちらの方は見解をお伺いいたします。

それから、土木のほうですが、実際の話は6件だけじゃないよと、10件あるんだというようなことなんだろうと思うんですが、そうしますと、前年度と大体同じ数ですが、この問題に関しましては、さきの部長さん、毎年12回は必ずやりますよと、月に1回は募集かけて頑張ってまいります、たしかそういう答弁をいただいています。いろいろ事情はあるとは思いますが、月に1回くらいは募集をかけていただきたい。そういういろいろな事情もあるんでしょうけれども、特に年々、さらに要望が多くなっております。この点でも、今後計画的に募集をかける、そういう点でのお考え、ぜひお伺いをしたいと思います。

教育のほうは、増員のお考えがあるということなので、よろしく願いいたします。以上です。

○議長（常泉健一君） 当局の答弁を求めます。

経済環境部次長 鳩川文夫君。

○経済環境部次長（鳩川文夫君） リサイクル関連の再質問にお答えいたします。新聞紙等の持ち去り対策としましては、これまで広域市町村圏組合の職員によりまして早朝パトロールを実施しており、発見した場合は持ち去らないようお願いをしておりました。しかしながら、強制力等がないことから、昨年度に条例の一部を改正いたしまして、ことしの4月1日から、ごみ集積所に出されたものを広域組合の委託業者以外が持ち去ることを禁止し、命令に従わない者に対しましては、10月1日から罰則が適用されるなどの強化を図り対応することとしております。

次に、報奨金、還元金、それなりの価格を保証していただきたいということなんですけれども、昨年までは還元金という形でやっています、この資源の買い取り価格が経済情勢によってかなりばらつきがあることから、かなりの高額に、中国の北京オリンピック等で鉄需要等が増したことによりまして、スチール、アルミの価格が高騰してきて、それに対応する形の市の予算措置がなかなかとれない。この回収したものは処分をするわけなんですけれども、これが市の会計に戻ってこないということから、市が一方的に出すだけということになってしまいますので、20年度につきましてはビンが5円、アルミ缶が72円、スチールが13円という形になっていたんですけれども、これをおおむねキロあたり1円という単価で経済情勢等のばらつきがない形で、安定した形で報奨金という形に変えさせていただいて払うというような形に変更されましたので、その辺のところを御理解いただきたいと思います。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 都市建設部次長 酒井達夫君。

○都市建設部次長（酒井達夫君） 今後計画的に募集をかけていくのかとの御質問でございますが、市営住宅の新規募集につきましては月1回程度が図れるように計画しているところでございます。市営住宅は老朽化が激しく、雨漏り補修や風呂釜の交換等が年々増加するとともにリフォーム代につきましても多額になってきております。そのようなことから、月1回の補修は厳しい状況であります。低所得者の入居希望も多いことから、今後新規募集が図られるよう努力してまいります。以上です。

○議長（常泉健一君） 他にありませんか。

加賀田隆志議員。

○13番（加賀田隆志君） 3款の民生費について伺います。3款の民生費は、3款1項の社会福祉費、約33.6億円、3款2項の児童福祉費が約24.2億、生活保護費が約12.6億、これが民生費の大半を占めているわけなんですけれども、今までの伸び率と今後の見通しをまず伺いたしたいと思います。そして、これからも伸びていくと思うんですが、市民に悪影響にならないように、む

だな支出にならないよう対策もとっていただきたいんですけども、その辺を聞かせていただきたいと思います。以上です。

○議長（常泉健一君） 福祉部次長 大野博志君。

○福祉部次長（大野博志君） それでは、民生費の決算額の伸び率、または今後の見通し、または対策はとの質問にお答えいたします。民生費の平成21年度決算額は70億4554万6053円で、前年度決算額に対しまして3億3605万4450円、5%の増となっております。主な内容といたしましては、まず障害福祉費で8181万4343円、9.43%の伸び率となっております。理由といたしましては、障害者自立支援法が平成18年4月から施行され、制度が定着したことと、特別対策によりまして利用者負担の軽減措置が図られサービス利用が増加したものと考えられます。さらに、報酬単価が平成21年度から平均5.1%増額改定されたことによるものであります。

なお、今後も利用者及びサービス利用の増加が予想されることから、これに伴いまして予算の増加が見込まれます。

次に、児童福祉費では4429万1663円、1.86%の伸び率となっております。理由といたしましては、子育て応援特別手当の創設及び民設学童クラブの公設化が上げられます。今後の見通しであります。保育所等の施設が老朽化していることなどを考慮しますと、児童福祉費全体予算は当分の間、微増すると見込まれます。

次に、生活保護費では1億9396万2088円、18.1%の伸び率となっております。理由といたしましては、保護世帯数が488世帯から514世帯と26世帯増加したことと、医療扶助費の増加によるものであります。今後の見通しであります。新規開始世帯の8割を傷病世帯と高齢者世帯が占めていることから、今後も医療扶助費の増加が見込まれます。

なお、民生費できの大半の事業は法に基づくものであり、それらにつきましては、今後も一層制度の適正な執行に努めてまいります。それ以外の事業で委託料など抑制できるものにつきましては鋭意努力してまいります。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 加賀田議員、再質問ありますか。加賀田隆志議員。

○13番（加賀田隆志君） ありがとうございました。

皆さんにお配りした資料、1枚ありますけれども、これを見てもみますと、21年度までで、ちょうど4年で10億くらい増加しております。今後、約20年前後は、ほかの大きな要因がなければ同じような経緯をたどるんじゃないかというように考えられます。そうすると20年で50億が増えるということが考えられます。今、財政健全化でいろいろ財政の見直しを行ってまいりますが、借金を早く返して身軽にするということは非常に大事な事かなというように思われ

ます。生活に対するいろいろなものは、あまり削るとまたこれも大変ですけれども、とにかく身軽になって、この辺がきちっと賄えるような、そういう体質にしないといけないと思いますけれども、その辺のお考えがありましたらお聞きしたいと思います。

○議長（常泉健一君） 福祉部次長 大野博志君。

○福祉部次長（大野博志君） それでは、再質問にお答えいたします。

4年間で10億もの増が見込まれる、また今後も増加傾向が続くということで、市の体質を身軽にという御質問でございますが、今後とも最小の経費で最大の効果を上げるという地方自治の原則を再確認いたしまして、財政健全化などを例に効率的な体質づくりに努め、対応してまいりたいと思います。

また、国庫支出金など、特定財源の増額につきまして国に要望してまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に認定案第2号「平成21年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算認定について」の質疑を許します。

平ゆき子議員。

○9番（平ゆき子君） 国保について2点ほどお伺いをいたします。先に国保の決算額なんですけど、国保は、平成20年度、21年度の決算を見ても、2年連続黒字になっています。それも5億を越える黒字決算となっています。単年度で見ても、決算のほうの18、23あたりに出ているんですけども、単年度で見ましても、平成20年度は1億600万円余りの黒字、また、平成21年度は約400万円弱の黒字となっております。21年度の当初予算では、繰越金2億5000万円、これを計上しております。これは歳入不足が見込まれるというようなお話でした。また、平成22年度も当初予算に2億1000万円が繰越金から計上されています。これも歳入不足に充てるんだと、こういうことでしたが、しかしながら、21年度は単年度でも黒字決算、繰越金も減っておりません。そういうことから、本年度も多少の差はあるんじゃないかとは思いますが、前年度と同様な決算となるんじゃないかなと、このように思います。そういうことからぜひお伺いしたいことは、今年度こそ、この高すぎると言われる国保税、一般質問でも行いましたが、引き上げることができるんじゃないか。5億円以上の繰越金、払いたくても払えない、そういう人たちのためにぜひ有効に使っていただきたいと、このように思うんですが、これが1点。

次、国保の特定健康診査等事業費につきまして、391ページです。平成20年度でこういう事

業が実施することになったんですが、そのときも質問したんですが、検査項目の充実、健康診査の費用の無料化など、健康診査の受診率の向上について提案をいろいろしたんですけども、ここで見ますと、平成21年度の健康診査委託料、前年度に比べますと約400万円ほど伸びています。これで受診率のほうはどうだったのか。実施計画の目標というのがあったと思うんですが、それは達成したのかどうか、この2点ほどお伺いをいたします。以上です。

○議長（常泉健一君） 市民部次長 森川浩一君。

○市民部次長（森川浩一君） それでは、国保のほうの御質問にお答え申し上げます。

初めに、国保税を引き下げることができないのかというような御質問でございますけれども、議員御指摘のとおり、確かに単年度決算は黒字が2年続いております。しかしながら、今年度は療養給付費は当初予想を超えた伸びを示している状況でございます。非常にそういった部分で不安定要素が強く、22年度の決算も予断は許されない状況でございます。また、財政調整基金への積み立てでございますけれども、既に底をついておりまして、本年度決算時に余裕があれば基金のほうに積み立ててまいりたいというように考えております。いずれにいたしましても、保険税の引き下げが単年度のみでやることは、翌年度以降がそれ以上の引き上げになるというようなことになると、被保険者にとってより一層増税感を強くするというようなことになると思われますので、これ以上の引き上げをしないよう現段階で努力してまいるといことが非常に重要ではないかというふうに考えております。

次に、特定健康診査の受診率向上並びに実施計画の目標が達成されたのかというような御質問でございますけれども、特定健康診査の受診率でございますが、平成20年度の受診者数が4882人、受診率にいたしまして28.3%でございました。21年度の受診者数は5460人、受診率で30.4%でございました。受診者のほうは前年度に比べまして約570名ほど増加しております。

なお、実施計画の目標値でございますけれども、35%を設定してございましたが、個別案内の実施や電話、文書等によりさまざまな受診勧奨をしましてまいりましたけれども、残念ながら目標値には届いていないというのが状況でございます。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 平議員、再質問ありますか。

平ゆき子議員。

○9番（平ゆき子君） 答弁を受けまして、ぜひ国保税を引き下げてほしいということはもう再三お話ししていますが、上げればまた次いろいろな事情で、下げればまた上げたときの負担が非常にきついというようなお話なんですけれども、きのうも飯尾議員の質問で、茂原の国保税、非常に高いということは、これは当局の方も認めていらっしゃいます。この高すぎる国保

税、何とか引き下げるといふ、その工夫が必要ではと、このように思います。私も質問のときに言いましたけれども、基金に繰り入れるんじゃないかと、やはり必要なときに本当に有効に使う必要があるんじゃないかと、このように思います。また、国保税のほうは、今こういう国保事業が非常に困難になってきたその原因というのは、きのう飯尾議員が盛んにお話ししましたが、国の負担が、国庫負担、そういった割合がどんどん減らされて、各自治体の国保事業が非常に困窮してきたという大きな原因があり、これは市長も、市長会においては、ぜひそういう点、何とかしていただきたいというお話はしていると、そのたびごとに答弁でいただいています。ただ、こういった市長会だけでなく、何かほかの方策、検討していただきたいなど、このように思います。それが1つ。

次に、特定健診のほうですが、健診率、予定していた目標よりもなかなか進んでいない。確かに前年度と比べますと上がってはいるんですが、達成にはなかなか大変で、この要因としては、今受診者の方から、これもただがいいというわけじゃないという、また別の御意見が出ると思うんですが、集団健診で1000円、個別健診では2000円、こういったのが大きな受診を受ける方にはネックになっているんじゃないのかなと、障害になっているんじゃないのかなと、このように考えるんですが、ぜひこの負担を撤廃して、多くの方が受診できるように、こういった考え方はどうでしょうか。ぜひこの点でもお伺いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（常泉健一君） 市民部次長 森川浩一君。

○市民部次長（森川浩一君） 初めに、決算のほうなんですけれども、先ほど答弁申し上げましたように、本年度の22年度分の決算の予定でございますけれども、非常に不安定要素が強いというような状況で、先行き財政状況が予測できないというような状況がございます。保険税の引き下げにつきましては、現状は困難ではないかというふうに考えております。

また、国庫負担の増額要望につきましては、国保連合会の会議が年1回ありますけれども、そちらで国保の担当課長が厚生労働省や国会議員へ直接要望書を提出するというような活動等もやっております。今後、あらゆる方策を講じまして、そういった部分で国庫負担の増額をお願いしたいというふうに考えております。

次に、特定健康診査のほうの自己負担金の撤廃なんですけれども、こちらにつきましては、受益者負担の観点から、現状、集団健診1000円、個別健診2000円という金額は維持していきたいと。基本的には、自分の健康は自分で守るというような形がございますので、若干の受益者負担は必要ではないかというふうに考えております。以上です。

○議長（常泉健一君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に認定案第3号「平成21年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算認定について」の質疑を許します。

加賀田隆志議員。

○13番（加賀田隆志君） 認定案第3号について、予算現額と調定額を見ますと、予算現額よりも調定額のほうが少ないですが、その理由をお伺いたします。

○議長（常泉健一君） 都市建設部次長 酒井達夫君。

○都市建設部次長（酒井達夫君） 第3号の下水道に関する御質問にお答えいたします。主な理由といたしましては、公的資金補助金免除繰上償還として5本の起債を繰上償還する予定で千葉財務事務所に申請しておりました。しかし、そのうち1本が平成4年7月の発行であったため、平成4年5月以前の発行という条件を満たさないことから、対象外となりました。歳出予算において繰上償還額が減額となりました。これに伴い、歳入予算において対応する財源であります下水道事業債借り換え債が減額となったものでございます。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 加賀田議員、再質問ありませんか。

加賀田隆志議員。

○13番（加賀田隆志君） ありがとうございます。

なぜ質問したかという、予算をつくる時に歳入歳出同額にしますけれども、調定額があまり少なくなりますと、当初に予定した事業そのものができなくなる可能性もあるということも考えられますので、予算をつくる時にしっかりとその辺を把握しながらつくっていただかないといけないんじゃないかと思って、この質問をいたしました。なかなかいろいろな状況がありますので難しい面もあると思いますけれども、その辺をしっかりと踏まえて予算をつくっていただきたいということと、どれくらいの範囲であれば、誤差の範囲であるか。もしそういうお考えがありましたらお聞かせいただきたいと思います。以上です。

○議長（常泉健一君） 都市建設部次長 酒井達夫君。

○都市建設部次長（酒井達夫君） 誤差の範囲につきましては、当初6億3638万円のうち借り換え債といたしまして3億2590万円を予定しておりました。減額となります金額が5880万でございました。これに対して歳出のほうも減額しております関係で、必要に応じて差が大きくなりましたら補正で対応してまいります予定でございます。

○議長（常泉健一君） 他にありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第4号「平成21年度茂原市特別会計宅地開発事業費歳入歳出決算認定について」の質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第5号「平成21年度茂原市特別会計老人保健費歳入歳出決算認定について」の質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第6号「平成21年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算認定について」の質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第7号「平成21年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算認定について」の質疑を許します。

加賀田隆志議員。

○13番(加賀田隆志君) 認定案第7号について、予算現額よりも調定額のほうが少なくなっている理由をお伺いいたします。

○議長(常泉健一君) 都市建設部次長 酒井達夫君。

○都市建設部次長(酒井達夫君) 第7号の駐車場に関する御質問にお答えいたします。平成21年度歳入予算につきましては、平成19年度決算額及び平成20年度上半期の収入状況を考慮して計上いたしました。平成21年度調定額が予算現額を下回った理由につきましては、駐車場使用料が前年と比較しまして約12%の大幅な減収となったことが要因でございます。減収の理由といたしましては、現在の社会経済情勢や退職世代の増加、近隣店舗の駐車場の2時間無料が浸透したこと、駅周辺の未利用地が民間駐車場として整備されたことが考えられます。今後も駐車場利用率が上がるよう広報、ホームページなどを利用いたしましてPRに努めてまいりたいと思います。以上です。

○議長(常泉健一君) 加賀田議員、再質問ありませんか。

加賀田隆志君。

○13番(加賀田隆志君) 認定案第3号でも伺いましたが、どれくらいの範囲であれば誤差の範囲であるか、お聞かせいただきたいと思います。

○議長(常泉健一君) 都市建設部次長 酒井達夫君。

○都市建設部次長(酒井達夫君) 必要に応じて差が大きくなりましたら、補正で対応してま

いる予定でございます。

○議長（常泉健一君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に認定案第8号「平成21年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算認定について」の質疑を許します。

加賀田隆志君。

○13番（加賀田隆志君） 認定案第8号について、予算現額よりも調定額のほうが少なくなっている理由をお伺いいたします。

○議長（常泉健一君） 福祉部次長 大野博志君。

○福祉部次長（大野博志君） それでは、認定案第8号の介護保険事業費の調定額が予算現額を下回っている理由について御答弁申し上げます。予算現額48億4051万2000円に対し調定額48億270万4484円と3780万7516円下回る状況となりました。予算現額は保険給付費及び地域支援事業費などの歳出予算を見積もり、その財源として決まった割合により歳入として算定したものでございます。一方、調定額は実際の保険給付費等の支出状況を確認しながら行います国、県支払い基金への交付申請及び変更交付申請により、また保険料については、実際の賦課状況により調定しているものでございます。調定額が予算現額を下回りましたのは、介護給付費及び地域支援事業費の支出が見込みました予算額を下回ったことにより、国、県支払い基金からの負担金が減少したことによるものでございます。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 加賀田議員、再質問ありませんか。

加賀田隆志議員。

○13番（加賀田隆志君） 認定案第3号、7号でも伺いましたが、どれくらいの範囲であれば誤差の範囲であるか、お聞かせいただきたいと思っております。

○議長（常泉健一君） 福祉部次長 大野博志君。

○福祉部次長（大野博志君） 御質問の誤差の範囲ということでもありますけれども、介護保険事業に関しまして3780万7156円減で、予算現額に対しますと0.78%の減でありました。どこまでが誤差の範囲というのはなかなか難しいことでもありますけれども、予算現額になるべく近づけていくよう頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（常泉健一君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に認定案第9号「平成21年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決

算認定について」の質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に議案第1号「平成22年度茂原市一般会計補正予算(第2号)」について質疑を許します。

飯尾 暁議員。

○1番(飯尾 暁君) それでは、歳出の概要のうちの5款農林水産業費について2点ほど伺います。

野放しの農産物輸入は、今後もEPAとかFTAとか締結の方向ということで、こういう促進で、国内の生産者は生産維持ということが大変今後もきついと、農業の衰退に拍車をかけるのではないかと私は危惧しておりますけれども、この辺は議論しましたところですが。貧弱な農政の中で、少しでも生産者にとって生産の活性化につながるということでしたら、ぜひこういう事業というのを推進してもらいたいという、第1点目の千葉県農山漁村地域活性化事業補助金がありますが、この事業の概要と効果について伺いたいと思います。

2つ目なんですが、湛水防除事業負担金、これで1220万ほどございますが、この事業の目的と事業概要についてお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長(常泉健一君) 経済環境部次長 鳩川文夫君。

○経済環境部次長(鳩川文夫君) それでは、農林水産業費についての御質問にお答えいたします。

初めに、千葉県農山漁村地域活性化事業補助金につきましては、平成12年度から平成19年度に施工しました吉井土地改良事業の完了に伴い、地域の合意に基づきまして担い手への農地の利用集積及び農業生産の面的集積を促進するための事業であり、利用権設定等の達成状況によりまして促進費として県100%の補助金が市を經由しまして吉井土地改良組合に交付されるものでございます。交付されました促進費は土地改良事業に対する地元負担分の繰上償還に充てられ、農家の負担金軽減に資するものであり、先般、県の交付金が754万円と決定しましたので、補正をお願いするものでございます。

次に、湛水防除事業につきましては、渋谷地区の湛水による被害を防止するため、渋谷排水機場と準用河川西谷川の整備を図るもので、千葉県長生農林振興センターが事業主体となり、平成11年度から総事業費15億円余で排水ポンプ2基の新設、排水路2.4キロを改修する計画で、平成23年の完成を目指しております。平成21年度までの進捗率につきましては、事業費ベースで65%であり、平成22年度事業としましては、排水路400メートルを施工する予定であり、県

の事業費が2億円と確定したため、茂原市の負担分として不足する1220万円の補正をお願いするものでございます。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 飯尾議員、再質問ありますか。

飯尾 暁議員。

○1番（飯尾 暁君） では、湛水防除事業についてちょっとお伺いします。長生病院下から本納駅にかけての、あの辺の複数の住民から、これは勝山議員が取り上げていらっしゃる問題もあるのですが、付近の水はけの改善の要望というのは私も聞いているんですが、この事業のことを知っている方が何人かいらっしゃいまして、鉄道の高架から北側の排水は乗川とか赤目川の整備に関するもの、こういうふうに思うんですが、また工事が進行途中で、時々やっぱり大水が出て防げない状況が続いていると。渋谷の湛水防除事業についても、期待している人もいると思うんです。この辺が、駅方面の排水がよくなるというふうにこの事業で考えてもらっても構わないかということなんですが、この辺をお伺いします。

○議長（常泉健一君） 経済環境部次長 鳩川文夫君。

○経済環境部次長（鳩川文夫君） それでは、再質問にお答えいたします。

本事業につきましては、国道128号バイパスの高架橋までが事業区域でありまして、その北側については乗川、赤目川水系ということで、バイパスの高架橋のところで分水嶺という形になっていますので、それぞれ北側区域、本納側につきましては、乗川、赤目川の整備により排水が図られるのが本来の形と考えておりますけれども、現在、高架橋の南北の土地形状がほぼ平坦で、水路もつながっておりますことから、西谷川のほうの整備が先にされたことによって、表面水が西谷川のほうが先にはけるとすれば、表面水が一部西谷川方面に流れることは考えられますけれども、あくまでも分水嶺でそれぞれ西谷川側と乗川側という形で整備としては考えていくべきだと考えております。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 他にありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第2号「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」の質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（常泉健一君） なければ、質疑を終結します。

お諮りします。ただいま議題となっております認定案第1号の審査については、8人の委員により構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査としたいと

と思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(常泉健一君) 御異議ないものと認めます。したがいまして、認定案第1号は8人の委員により構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

ただいま設置されました決算審査特別委員会の委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、議長から指名します。その氏名を事務局長に朗読させます。

○事務局長(金坂正利君) それでは、申し上げます。1番飯尾 暁議員、3番矢部義明議員、5番中山和夫議員、6番山田きよし議員、14番腰川日出夫議員、15番伊藤すすむ議員、19番三橋弘明議員、25番田辺正和議員。以上でございます。

○議長(常泉健一君) 以上の8人を決算審査特別委員会委員に指名します。

続いてお諮りします。ただいま議題となっております議案第2号については、人事案件のため、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(常泉健一君) 御異議ないものと認めます。したがいまして、議案第2号については委員会付託を省略することと決定しました。

なお、そのほかの議案については、お手元に配付の議案付託表のとおり、各所管委員会にその審査を付託します。

お諮りします。ただいま付託しました議案のうち、認定案第2号から第9号については、議会運営委員会の協議に基づき、各所管委員会における閉会中の継続審査に付したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(常泉健一君) 御異議ないものと認めます。したがいまして、認定案第2号から第9号については、閉会中の継続審査に付することと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

休 会 の 件

○議長(常泉健一君) 次に、議事日程第2「休会の件」を議題といたします。

お諮りします。明11日から14日までは報告書作成等のため休会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(常泉健一君) 御異議ないものと認めます。したがいまして、そのように決定しました。

これをもって本日の議事日程は終了しました。

次の本会議は15日午後1時から開き、総括審議を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午前11時03分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 報告第1号から第9号並びに議案第1号から第2号までの質疑後委員会付託
2. 休会の件

○出席議員

議長 常 泉 健 一 君

副議長 深 山 和 夫 君

1番	飯 尾 暁 君	2番	前 田 正 志 君
3番	矢 部 義 明 君	4番	金 坂 道 人 君
5番	中 山 和 夫 君	6番	山 田 きよし 君
7番	細 谷 菜穂子 君	8番	森 川 雅 之 君
9番	平 ゆき子 君	10番	鈴 木 敏 文 君
11番	ますだ よしお 君	12番	田 丸 たけ子 君
13番	加賀田 隆 志 君	14番	腰 川 日出夫 君
15番	伊 藤 すすむ 君	17番	勝 山 穎 郷 君
18番	初 谷 智津枝 君	19番	三 橋 弘 明 君
20番	関 好 治 君	21番	早 野 公一郎 君
22番	三 枝 義 男 君	24番	市 原 健 二 君
25番	田 辺 正 和 君	26番	金 澤 武 夫 君

————— ☆ ————— ☆ —————

○欠 席 議 員

な し

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席説明員

市 長	田 中 豊 彦 君	副 市 長	長谷川 正 君
教 育 長	古 谷 一 雄 君	総 務 部 長	松 本 文 雄 君
企 画 財 政 部 長	平 野 貞 夫 君	市 民 部 長	中 山 茂 君
福 祉 部 長	古 山 剛 君	経 済 環 境 部 長	前 田 一 郎 君
都 市 建 設 部 長	古 市 賢 一 君	教 育 部 長	國 代 文 美 君
総 務 部 次 長 (総務課長事務取扱)	片 岡 繁 君	企 画 財 政 部 次 長 (市民税課長事務取扱)	今 関 正 男 君
企 画 財 政 部 次 長 (財政課長事務取扱)	麻 生 英 樹 君	市 民 部 次 長 (国保年金課長事務取扱)	森 川 浩 一 君
福 祉 部 次 長 (社会福祉課長事務取扱)	大 野 博 志 君	経 済 環 境 部 次 長 (農政課長事務取扱)	鳩 川 文 夫 君
都 市 建 設 部 次 長 (土木建設課長事務取扱・土木政策担当)	笠 原 保 夫 君	都 市 建 設 部 次 長 (都市政策担当・ 本納駅東地区土地 区画整理担当)	酒 井 達 夫 君
福 祉 部 次 長 (社会福祉課長事務取扱)	斉 藤 勝 君	職 員 課 長	相 澤 佐 君
企 画 政 策 課 長	岡 本 幸 一 君		

☆

☆

○出席事務局職員

事 務 局 長	金 坂 正 利
主 幹	三 橋 勝 美
局 長 補 佐 (庶務係長事務取扱)	宮 本 浩 一